

LAN・CAFÉ

だより



J u n e , 2025

2025 年 6 月号

豊橋語学教育研究室

CINE-CLUB du « Café Français »

Printemps 2025, cycle François Truffaut.
Nous projetons ses films principaux.

Lundi 12 mai, 16 heures 40, à la salle 712 (bâtiment 7).

Le dernier métro de François Truffaut (1980), avec Catherine Deneuve, Gérard Depardieu et Jean Poiret, 132 minutes, couleur, version française sous-titrée en japonais.

Sous l'Occupation de Paris, Marion Steiner reprend la direction du théâtre Montmartre que son mari Juif allemand Lucas a abandonné. Un ami collaborateur doit assurer la mise en scène de la nouvelle pièce, et le comédien Bernard Granger, amoureux de Marion, en tient le premier rôle. Caché dans la cave, Lucas surveille la mise en scène.... (Le Monde)

Lundi 26 mai, 16 heures 45, à la salle 712 (bâtiment 7).

Tirez sur le pianiste de François Truffaut (1960), avec Charles Aznavour, Marie Dubois et Nicole Berger, 97 minutes, noir et blanc, version française sous-titrée en japonais.

Un timide pianiste de jazz se souvient de la tragédie qui a provoqué la mort de sa femme alors qu'il était un brillant artiste de concert. Poursuivi par des tueurs, il doit encore se défendre, tandis qu'une jeune femme tente de l'arracher à son passé. (Le Monde)

Lundi 9 juin, 16 heures 45, à la salle 712 (bâtiment 7).

Jules et Jim de François Truffaut (1961), avec Jeanne Moreau, Oscar Werner et Henri Serre, 106 minutes, noir et blanc, version française sous-titrée en japonais.

Paris, 1912. Deux amis inséparables, Jules, un Allemand, et Jim, un Français s'éprennent de la même femme, Catherine. Celle-ci décide d'épouser Jules. Séparés par la guerre, les deux amis se retrouvent à la fin du conflit. Catherine est malheureuse en ménage et pour son bonheur, Jules accepte que Jim devienne l'amant de la jeune femme. (Le Monde)

Lundi 23 juin, 16 heures 45, à la salle 712 (bâtiment 7).

Baisers volés de François Truffaut (1968), avec Jean-Pierre Léaud, Delphine Seyrig et Claude Jade, 87 minutes, couleur, version française sous-titrée en japonais.

A la fin de son service militaire, Antoine Doinel trouve un emploi de détective. Sa mission le conduit dans un magasin de chaussures afin de surveiller Mme Tabard avec qui il a une brève liaison. Devenu réparateur de télévision, il revient vers celle qu'il a toujours aimé, Christine Darbon. (Le Monde)

Lundi 7 juillet, 16 heures 45, à la salle 712 (bâtiment 7).

Domicile conjugal de François Truffaut (1970), avec Jean-Pierre Léaud, Claude Jade et Daniel Ceccaldi, 94 minutes, couleur, version française sous-titrée en japonais.

Antoine Doinel épouse Christine et s'engage dans des métiers peu intéressants. Il s'embourgeoise mais à la joie d'avoir son premier enfant. Hélas, la bonne entente du couple est gâchée par la liaison qu'entame Antoine avec une Japonaise. Christine le quitte. Il tente de la reconquérir une fois lassé de sa peu bavarde nipponne. (Le Monde)



Entr e libre. Pour plus d'information, s'adresser   Juro NAKAO (poste 7807).

シネ・クラブ (フランス語カフェ)

2025年度春学期、フランソワ・トリュフォー特集。
主な作品を鑑賞します。

5月12日(月)、16時40分～、於7号館712教室(ランゲージセンター向かい)。

『終電車』(1980) 監督 フランソワ・トリュフォー 出演 カトリーヌ・ドヌーヴ、ジェラルド・ドパルデュー、ジャン・ポワレ 132分/カラー フランス語版 日本語字幕付。

占領下のパリ、マリオン・シュタイナーは彼女の夫でユダヤ系ドイツ人ルカが手放した劇場の支配人を引き継ぐ。協力者の友人が新たな戯曲の演出を助けねばならず、マリオンに恋心を抱く役者ベルナール・グランジェがその主役を務める。地下室に隠れたルカは演出を見張る…。(ル・モンド)

5月26日(月)、16時45分～、於7号館712教室(ランゲージセンター向かい)。

『ピアニストを撃て』(1960) 監督 フランソワ・トリュフォー 出演 シャルル・アズナヴール、マリー・デュボワ、ニコル・ベルジュ 97分/白黒 フランス語版 日本語字幕付。

内気なジャズピアニストが彼の妻の死を招いた悲劇を回想するが、実は彼は優れた舞台演奏者であった。殺人者に追い詰められて彼は今もなお自分を守らねばならないが、一人の若い女性が彼をその過去から引きはがそうと試みる。(ル・モンド)

6月9日(月)、16時45分～、於7号館712教室(ランゲージセンター向かい)。

『突然炎のごとく』(1961) 監督 フランソワ・トリュフォー 出演 ジャンヌ・モロー、オスカー・ヴェルナー、アンリ・セール 106分/白黒 フランス語版 日本語字幕付。

1912年パリ。分かちがたい二人の友、ドイツ人のジュールとフランス人のジムがカトリーヌという同じ女性に恋をする。カトリーヌはジュールと結婚することを決意する。戦争によって分かたれた二人は争いの終わりに再会する。カトリーヌは家庭生活の中で不幸になっており、彼女の幸せのためにジュールは若妻の愛人になることを受け入れる。(ル・モンド)

6月23日(月)、16時45分～、於7号館712教室(ランゲージセンター向かい)。

『夜霧の恋人たち』(1968) 監督 フランソワ・トリュフォー 出演 ジャン＝ピエール・レオー、デルフィーヌ・セイリグ、クロード・ジャド 87分/カラー フランス語版 日本語字幕付。

兵役を終えたアントワヌ・ドワネルは探偵の職を見つける。任務を果たそうとしてタバル夫人を監視するために靴屋に入り込むが、彼女とはかない関係を持つに至る。その後テレビの修理人となった彼はずっと愛していたクリスチーナ・ダルボンの元に戻ることになる。(ル・モンド)

7月7日(月)、16時45分～、於7号館712教室(ランゲージセンター向かい)。

『家庭』(1970) 監督 フランソワ・トリュフォー 出演 ジャン＝ピエール・レオー、クロード・ジャド、ダニエル・セカルディ 94分/カラー フランス語版 日本語字幕付。

アントワヌ・ドワネルはクリスチーナと結婚し、ほとんど興味のない仕事に専念する。彼はブルジョワ化するが、第一子を授かって喜びに浸る。しかし、何ということだ、カップルの平和は、アントワヌが一人の日本人女性と関係を持ち始めたことで台無しになってしまう。クリスチーナは彼の元を去る。しかし、ひとたびほとんど何もしゃべらない日本人女性に飽き飽きしてしまうと、彼は再びクリスチーナをわがものにしようと試みる。(ル・モンド)



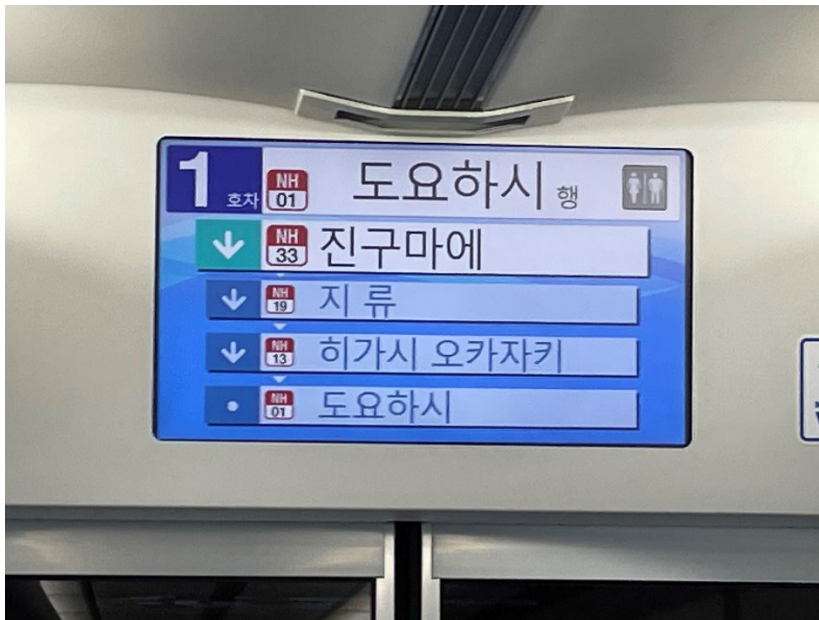
入場無料。問い合わせ先：中尾充良 (7807)。

電車でハングルー非学習者のひそかな楽しみ

文学部 中尾充良

私は名古屋－豊橋間を電車で通勤している。名古屋－豊橋間は JR 在来線、新幹線、名鉄線の 3 通りの行き方があるが、時間のある時には名鉄線を利用する。その時に JR 線にはなくて名鉄線にだけある楽しみとして、ハングル文字を読むのではなく、類推するというものがある。身に着けた語学の知識を使って読むのではなく、あくまでもヒエログリフとして解読する楽しみだ。

金山駅を出てすぐに表示されるのが以下のスクリーンだ。



「豊橋行き」だから、

ㄷ=[t]、ㅇ=[j]、ㅊ=[o]、ㅎ=[h]、ㅏ=[a]、ㅓ=[i]、ㅣ=[i]

と推定できる。もちろん一対一対応とは限らないから、他の可能性も捨てきれないが…。同じようにして二段目以下を読んでいくと、快速特急の次の停車駅は「神宮前」だから、

ㅍ=[dʒ]、ㄴ=[n]、ㄱ=[g]、ㅓ=[u]、ㅁ=[m]、ㅇ=ゼロ、ㅍ=[e]

となる。ㅓ=[u]なのだが、これに付随する記号がないから、長母音は文字に記載されない、つまり弁別的ではないのかもしれない。その次の「知立」からは、

ㅌ=[tʃ]、ㄹ=[r]、ㅍ=[ju]

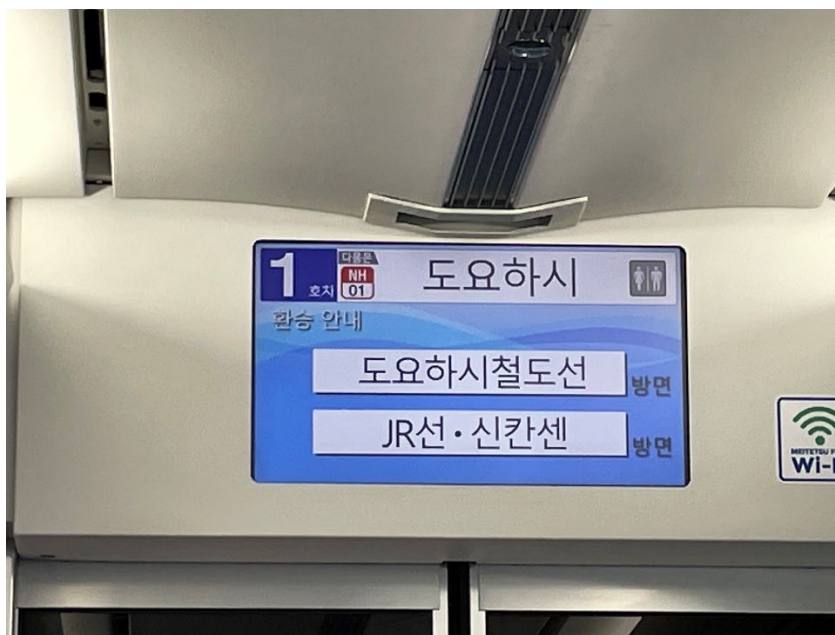
が分かる。「神宮前」の結果と合わせると、ㅈ=[ɟ/tʃ]となり、韓国・朝鮮語には有声音/無声音の区別がないのかもしれないと推察できる。このことはㄷ=[d/t]、ㅋ=[k/g]といったように他の子音についても当てはまるのかもしれない。

さて、次の「東岡崎」からは、

ㅋ=[k]、ㅈ=[z]

となるが、先ほどのㅋ=[k/g]、ㅈ=[ɟ/tʃ]と矛盾する。これは、韓国・朝鮮語には広く帯気音というものが存在するらしいので、ㅋ=[kʰ]とすれば解決がつく。仮にㅋと書いてしまうと[g]と発音されてしまうからそれを避けるために必要だ。ㅈは[ɟ]と発音されると予想されるが、[z]を一意的にあらわす文字は存在しないみたいなので、ㅈで[z]を表現せざるを得ないのだろう。たぶん韓国・朝鮮語話者は[okʰaɟakʰi]と発音するものと予想される。

こうして、電車は豊橋駅に着く。そして乗り換え案内が表示される。



철도(chel-ddo)は「鉄道」、선(seon)は「線」らしい。あとは今までの知識で読むことができそうだ。

こんなお遊びをしながら実は韓国語を学習する予定は全くない。いろいろな手を使ってハングルを最初の一ヵ月ぐらいでマスターしようとしている韓国・朝鮮語選択の学生さんには申し訳ないが、私の場合、逆に無知であることでこのような推理ゲームを楽しむことができる。

私も高齢者、もう古い先長くはない。勝手ながら好きなことをやらせていただく。

2025年 6月

LANGUAGE・CAFÉプログラム

EC (English Café) : 月火水 3時限目 **CF** (Café Français) : 火 5時限目

月	火		水	木	金
2 EC	3 EC	3 CF	4 EC	5	6
Student-led seminars  Alexander Lee Harvey	Seminar3  Ashley Bartholomy	テストのための復習  DUBERT Davy	Issues We Care About 1  Angela Wolf		
9 EC	10 EC	10 CF	11 EC	12	13
Student-led seminars  Alexander Lee Harvey	Seminar3  Ashley Bartholomy	まとめと中間テスト  DUBERT Davy	Issues We Care About 2  Angela Wolf		
16 EC	17 EC	17 CF	18 EC	19	20
Teacher-led seminars  Alexander Lee Harvey	Seminar3  Ashley Bartholomy	レストランで注文  DUBERT Davy	Teacher Led Seminar  Angela Wolf		
23 EC	24 EC	24 CF	25 EC	26	27
Student-led seminars  Alexander Lee Harvey	Seminar3  Ashley Bartholomy	レストランで注文  DUBERT Davy	Student-led Seminars  Angela Wolf		
30 EC	7/1	1	2	3	4
Student-led seminars  Alexander Lee Harvey					

Language Café 昼休みの部

◆English Café : 月・火・水・金

◆Café Français : 金

◆Global Café : 火 (at 6号館5階 留学生室)

※プログラムは変更することがあります。

LAN-CAFÉ だより 2025年6月号(第55号)
WEB版URL :
<http://taweb.aichi-u.ac.jp/tgoken/kikanshi.html>
2025年5月23日発行
発行 : 愛知大学豊橋語学教育研究室
〒441-8522豊橋市町畑町1-1
TEL : (0532) 47-4170
URL : <http://taweb.aichi-u.ac.jp/tgoken>